

荒神山の古墳を掘る

古墳時代へタイムスリップ

小・中・高校生向け 調査現場見学会

～みる・ふれる・感じる古墳～

日時 2023年3月4日(土)

1. 10時～ 2. 13時～ 3. 15時～

集合場所 荒神山神社 遥拝殿(清崎町1872)

現場まで少し歩きます。(徒歩15分ほど)

汚れてもよい服装でお越しください。

※事前の申し込みは不要です

調査成果現地説明会

日時 2023年4月15日(土)

1. 10時～ 2. 13時～

集合場所 荒神山神社 遥拝殿(清崎町1872)

現場まで少し歩きます。(徒歩15分ほど)

動きやすい靴でお越しください。

※事前の申し込みは不要です

荒神山の隠れた魅力

荒神山では、滋賀県で2番目に大きい荒神山古墳をはじめ、たくさんの古墳が見つっています。山のあちこちにある小さな古墳たちは「荒神山古墳群」と呼ばれていて、1400年も前につくられたものです。これらの古墳は、死者を埋葬する石づくりの部屋「横穴式石室」を備えています。荒神山古墳群には、天井をドーム状につくった珍しい形の石室が混じっています。これらは、海を渡ってやってきた渡来人がつくったものだと考えられています。

このように荒神山古墳群は、地域の歴史の中でとても価値がありますが、これまで発掘調査がおこなわれてきませんでした。

そこで滋賀県立大学考古学研究室では、彦根市と協力して、荒神山古墳群の調査プロジェクトを立ち上げました。はじめての調査となる今回は、荒神山の古墳たちの中でも特に大きい、A支群1号墳を発掘します。

山中にあらわれる古墳

遥拝殿から山道を進むとA支群1号墳があります。古墳のそばには、神様をまつる祠（ほくら）がつくられています。地域のひとたちにずっと大切にされてきたことがわかります。



石室の中の巨大な石

「横穴式石室」の壁や天井には、人よりも大きな石がたくさん使われています。古墳に入れば、古墳時代の人の気持ちになれるかも？



【調査主体】彦根市

【調査機関】滋賀県立大学

【連絡先】彦根市文化財課

〒522-8501 滋賀県彦根市元町4番2号

TEL: 0749-26-5833

E-mail: bunkazai@mx.hikone.ed.jp